

## 地方公営企業の抜本的な改革等の取組状況(平成28年3月31日現在)

団体名	事業名	公営企業の名称
小美玉市	水道事業	小美玉市水道事業

### 実施状況

抜本的な改革の取組状況							現行の経営体制を継続
事業廃止	民営化・民間譲渡	地方独立行政法人化	広域化・広域連携	PFI	指定管理者制度	包括的民間委託	
			○				

### 抜本的な改革の取組状況

取組事項	広域化・広域連携					
実施済		(事業の概要)	(実施形態)			(実施(予定)時期)
		<div style="border: 1px solid black; height: 100px; width: 100%;"></div>	事業統合	経営の一体化	運営の一体化	施設の共同化
実施予定			その他			
検討中	○	(事業の概要)	(検討状況・課題)			
		複数の水道事業を既存の企業団へ統合し広域化を図る	・水道料金等の格差 ・運用システム等の統一			

### その他の民間活用の取組状況

取組事項	その他の民間活用				
実施済	○	(事業の概要)	(取組の方式等)		(実施(予定)時期)
		・窓口業務 ・上下水道の検針・賦課・徴収等 ・給水装置工事等申請受付業務	仕様書発注による民間委託		平成 22 年 5 月 1 日
実施予定		(事業の概要)	(検討状況・課題)		
検討中					

# 地方公営企業の抜本的な改革等の取組状況(平成28年3月31日現在)

団体名	事業名	公営企業の名称
小美玉市	病院事業	小美玉市病院事業

## 実施状況

抜本的な改革の取組状況							現行の経営体制を継続
事業廃止	民営化・民間譲渡	地方独立行政法人化	広域化・広域連携	PFI	指定管理者制度	包括的民間委託	
					○		

## 抜本的な改革の取組状況

取組事項		指定管理者制度			(実施(予定)時期)				
実施済	○	(事業の概要) 病院経営に関する全て	(方式)		平成	20	4	1	
			代行制	利用料金制					年
実施予定				○					
検討中		(事業の概要)	(検討状況・課題)						

## 地方公営企業の抜本的な改革等の取組状況（平成28年3月31日現在）

団体名	事業名	公営企業の名称
小美玉市	下水道事業	小美玉市公共下水道事業

### 実施状況

抜本的な改革の取組状況							現行の経営体制を継続
事業廃止	民営化・民間譲渡	地方独立行政法人化	広域化・広域連携	PFI	指定管理者制度	包括的民間委託	
							○

### 現行の経営体制・手法を継続する理由、今後の方向性

（現行の経営体制・手法を継続する理由）

知見、ノウハウの不足により抜本的な改革の実施が検討できていない。

（今後の経営改革の方向性等）

他団体の先進事例を参考に検討していきたい。

## 地方公営企業の抜本的な改革等の取組状況（平成28年3月31日現在）

団体名	事業名	公営企業の名称
小美玉市	下水道事業	小美玉市特定環境保全公共下水道事業

### 実施状況

抜本的な改革の取組状況							現行の経営体制を継続
事業廃止	民営化・民間譲渡	地方独立行政法人化	広域化・広域連携	PFI	指定管理者制度	包括的民間委託	
							○

### 現行の経営体制・手法を継続する理由、今後の方向性

（現行の経営体制・手法を継続する理由）

知見、ノウハウの不足により抜本的な改革の実施が検討できていない。

（今後の経営改革の方向性等）

他団体の先進事例を参考に検討していきたい。

## 地方公営企業の抜本的な改革等の取組状況（平成28年3月31日現在）

団体名	事業名	公営企業の名称
小美玉市	下水道事業	小美玉市農業集落排水事業

### 実施状況

抜本的な改革の取組状況							現行の経営体制を継続
事業廃止	民営化・民間譲渡	地方独立行政法人化	広域化・広域連携	PFI	指定管理者制度	包括的民間委託	
							○

### 現行の経営体制・手法を継続する理由、今後の方向性

（現行の経営体制・手法を継続する理由）

知見、ノウハウの不足により抜本的な改革の実施が検討できていない。

（今後の経営改革の方向性等）

他団体の先進事例を参考に検討していきたい。

## 地方公営企業の抜本的な改革等の取組状況（平成28年3月31日現在）

団体名	事業名	公営企業の名称
小美玉市	下水道事業	小美玉市特定地域生活排水事業

### 実施状況

抜本的な改革の取組状況							現行の経営体制を継続
事業廃止	民営化・民間譲渡	地方独立行政法人化	広域化・広域連携	PFI	指定管理者制度	包括的民間委託	
							○

### 現行の経営体制・手法を継続する理由、今後の方向性

（現行の経営体制・手法を継続する理由）

知見、ノウハウの不足により抜本的な改革の実施が検討できていない。

（今後の経営改革の方向性等）

他団体の先進事例を参考に検討していきたい。